

2009年日本社会情報学会（JSIS & JASI）合同研究大会 参加報告書

韓 放（東北大学大学院情報科学研究科 博士後期課程2年）

調査・場所
新潟大学(五十嵐キャンパス)
日程
2009年9月12日～2009年9月13日
参加者
坂田邦子(講師)・韓 放(情報科学研究科博士後期課程2年)
目的
2009年日本社会情報学会(JSIS & JASI)に参加し、発表するため。
概要および成果
<p>2009年9月12日、13日新潟大学で2009年日本社会情報学会（JSIS & JASI）合同研究大会が開催された。大会のテーマは「混迷する社会システムと社会情報学」である。近年、情報化が進行する中で、デジタルデバイド、情報倫理などの問題が注目されているが、パネル討論では、このような社会動向を配視しつつ、現在の混迷する社会システム、ならびに経済、行政、そして教育の各分野におけるこれからの社会のあり方、両者について社会情報学のあり方と絡めて論議した。</p> <p>13日、情報リテラシー教育プログラムの学生、韓放は「台湾におけるメディア・リテラシー教育の現状 —大学と地域との連携を中心に」(The Current Situation of Media Literacy in Taiwan –regional cooperation with university)のテーマで発表を行った。発表では、メディア・リテラシー教育が進んでいる先進地域である台湾の事例を用いて、大学の役割、大学とNPO/NGO 団体との連携、また小中学校の教育現場での実践について調査した結果について報告した。台湾のメディア・リテラシー教育における各機関間の協力関係のあり方が検証された。そこでは、大学が重要な役割を果たしているが、他の機関と連携して、社会的なネットワークの中に推進することの重要性が見えてきた。台湾の事例を参考して、これからメディア・リテラシー教育の展開における連携のモデルを示すことができた。</p>